

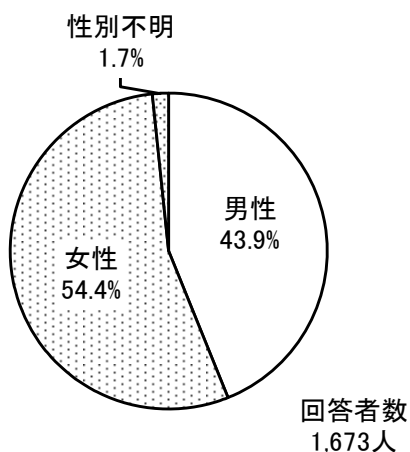
2 日本人県民 調査結果

(1) 性別・年齢

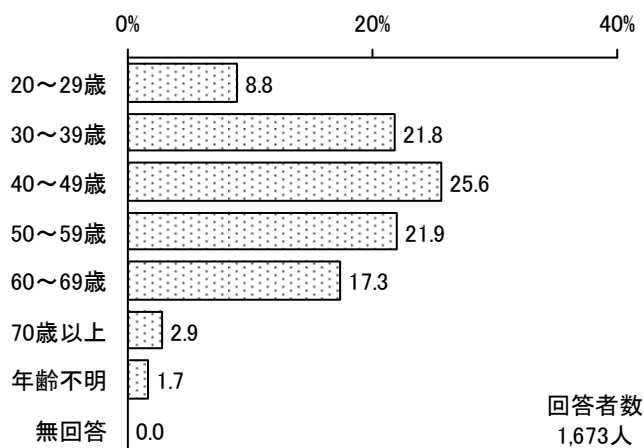
問1 性別 問2 年齢

回答者の性別は、「男性」(43.9%)、「女性」(54.4%)でした。
年齢は、「40～49歳」(25.6%)が最も多く、次いで「30～39歳」(21.8%)、「50～59歳」(21.9%)、「60～69歳」(17.3%)となっています。

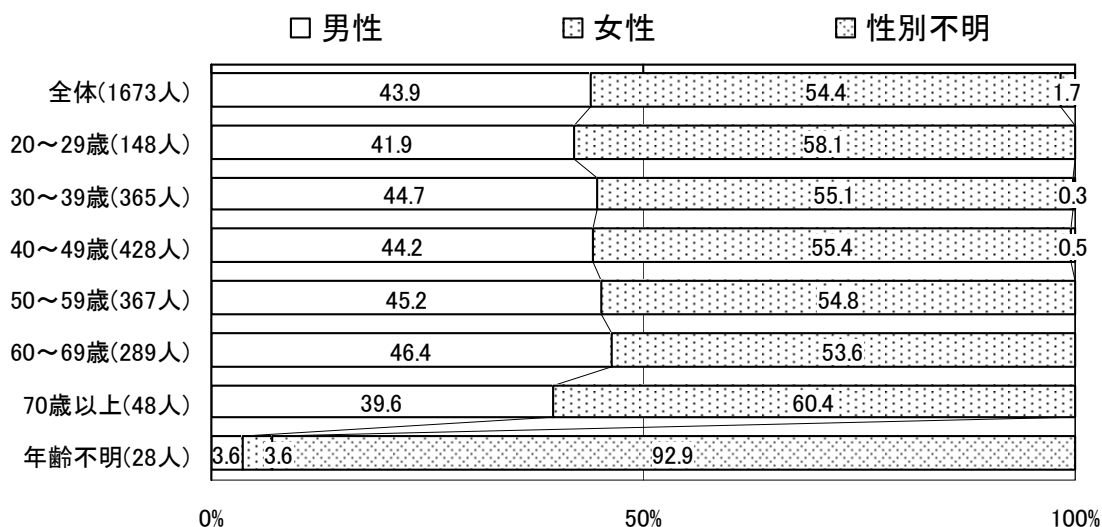
図表2-1 性別



図表2-2 年齢



図表2-3 年齢別性別

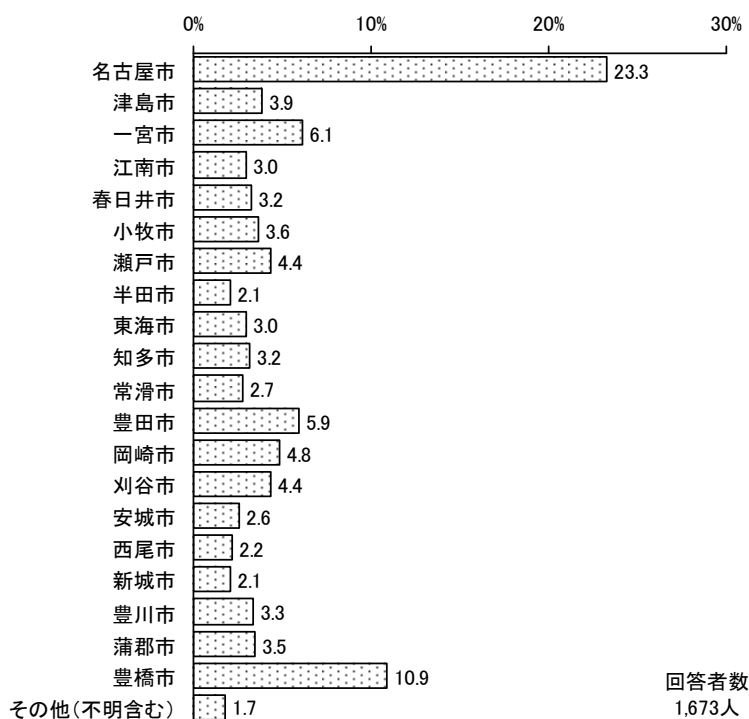


(2) 住所

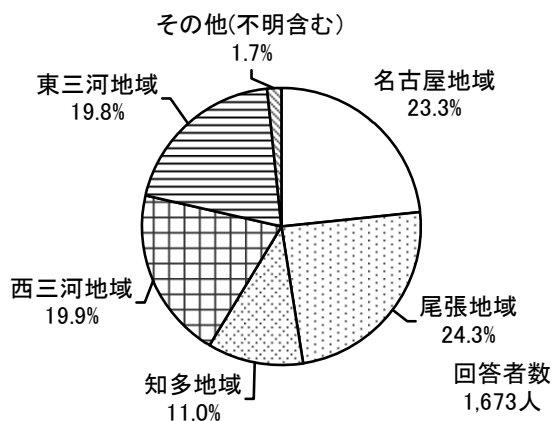
問3 住所

回答者の住所は、「名古屋市」(23.3%)が最も多く、次いで「豊橋市」(10.9%)、「一宮市」(6.1%)、「尾張市」(5.9%)、「岡崎市」(4.8%)となっています。
地域は、「名古屋地域」(23.3%)、「尾張地域」(24.3%)、「知多地域」(11.0%)、「西三河地域」(19.9%)、「東三河地域」(19.8%)となっています。

図表2-4 住所



図表2-5 地域



(3) 「多文化共生」の認知

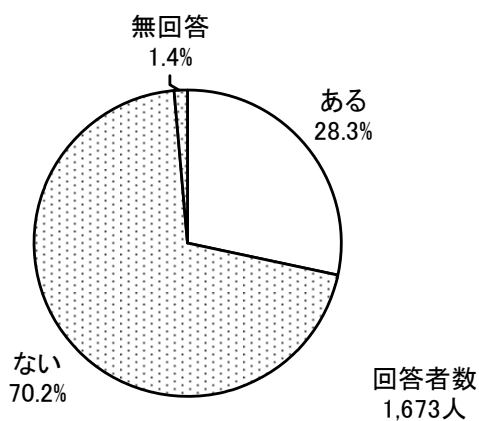
「多文化共生」を知っている人は3割、知らない人は7割

問4 あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。

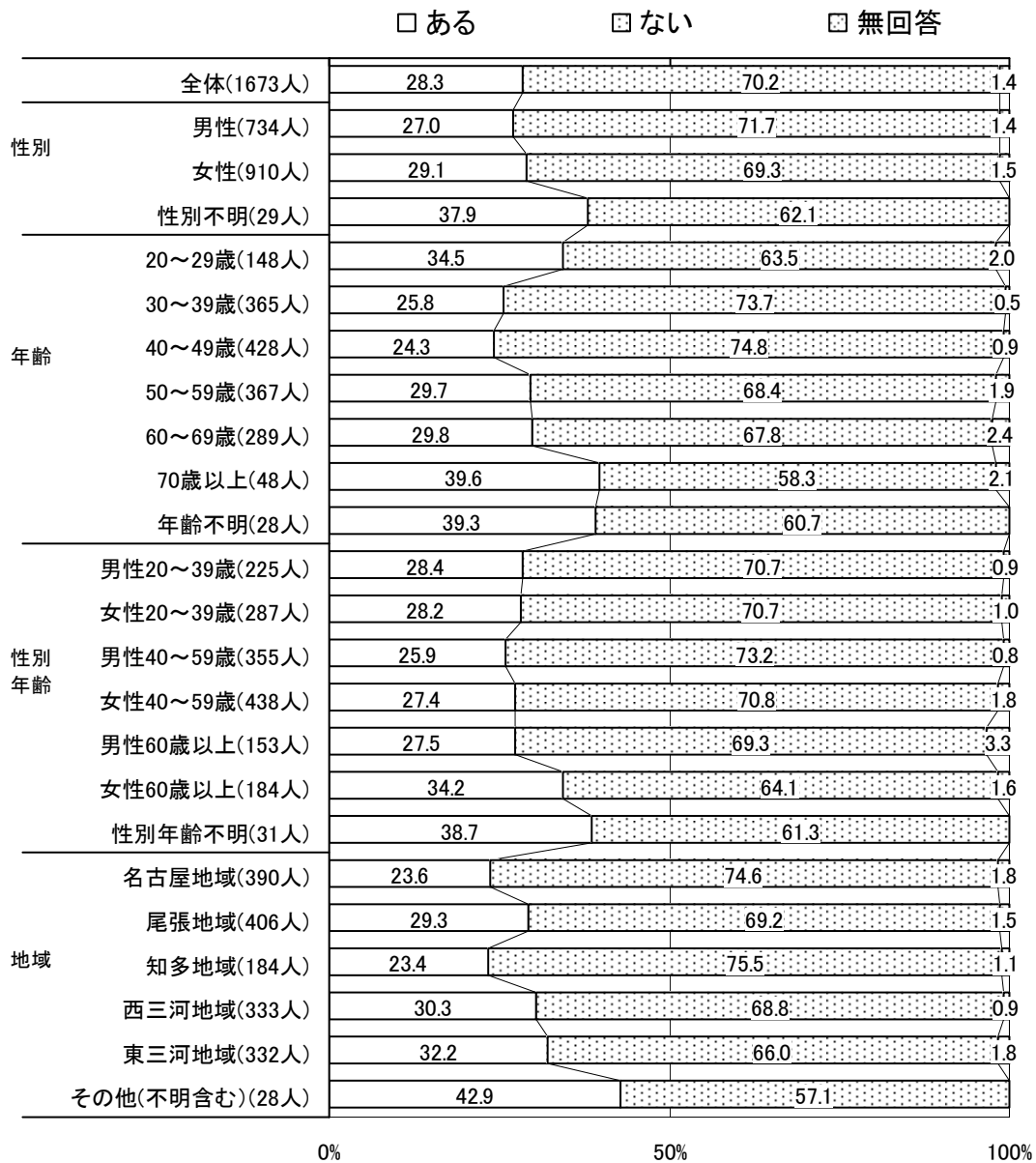
「多文化共生」という言葉を聞いたことが、「ある」は28.3%、「ない」は70.2%となっています。

年齢別に見ると、「30～39歳」と「40～49歳」での認知度が25%前後で、他の年齢層よりやや低くなっています。

図表2-6 「多文化共生」の認知



ずひょう ぞくせいべつ たぶん かきょうせい にんち
図表2-7 属性別「多文化共生」の認知



(4) 外国人が多いことをどう思うか

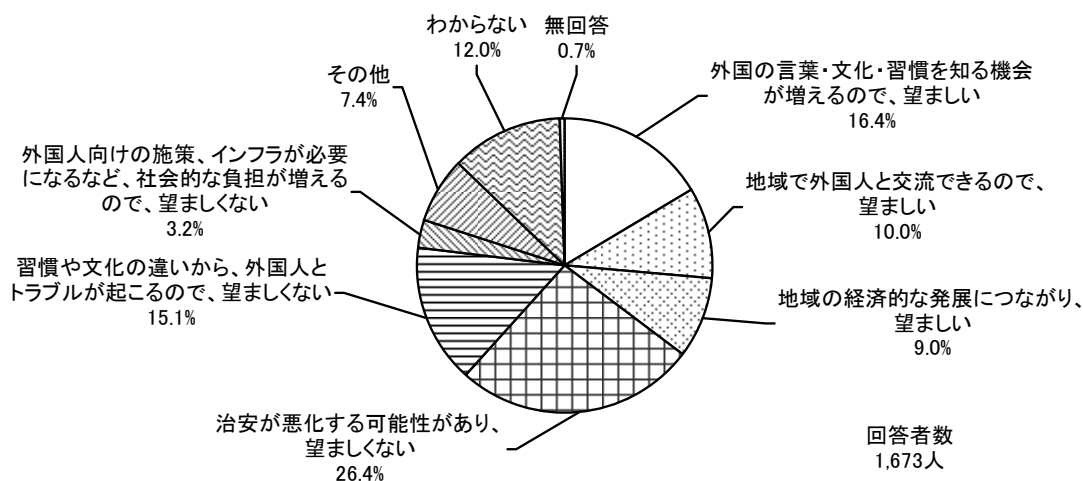
外国人が多いことを望ましくないと感じる人は約45%、望ましいと感じる人は約35%、その他、両面ある、しかたないなどの意見も

問5 本県に在住している外国人は 現在約20万人で、全国で2番目の多さです。あなたは、本県に外国人が多いことを、どう思いますか。(1つに○)

外国人が多いことについては、「治安が悪化する可能性があり、望ましくない」(26.4%)と感じる人が最も多くなっています。次いで、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるので、望ましい」(16.4%)、「習慣や文化の違いから、外国人とトラブルが起こるので、望ましくない」(15.1%)、「わからない」(12.0%)、「地域で外国人と交流できるので、望ましい」(10.0%)、「地域の経済的な発展につながり、望ましい」(9.0%)となっています。「その他」(7.4%)では、「良い悪いで判断できない」「しかたがない」という意見があげられています。

性別で見ると、「治安が悪化する可能性があり、望ましくない」人は、男性(30.9%)に多く(女性(22.7%))、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるので、望ましい」人は、女性(19.6%)が多く(男性(12.5%))となっています。

図表2-8 本県に、外国人が多いことをどう思うか



「その他」の主な記述内容

- ・良い面、悪い面それぞれあるので判断し難い。
- ・望ましい面、望ましくない面もあるが増加する現状では、多文化共生の問題を考慮すべきである。

- ・大企業のある所なので、労働力として多いのだろう。良い悪いで判断できないと思う。
- ・望ましいか望ましくないか決めるものではない。他国の人を排除するつもりはない。お互い普通に生活できる国でありたい。
- ・当然文化の違いなどでトラブルの可能性はあると思うが、これだけ国際化が進めば当然であると思う。
- ・文化の違いがあることは感じるが、好ましくないとは思わない。
- ・自分のまわりにはあまり外国人が多いと実感できる機会がないため具体的には思い浮かばない

図表2-9 属性別外国人が多いことをどう思うか



(5) 日本人との間にトラブルが起きる理由

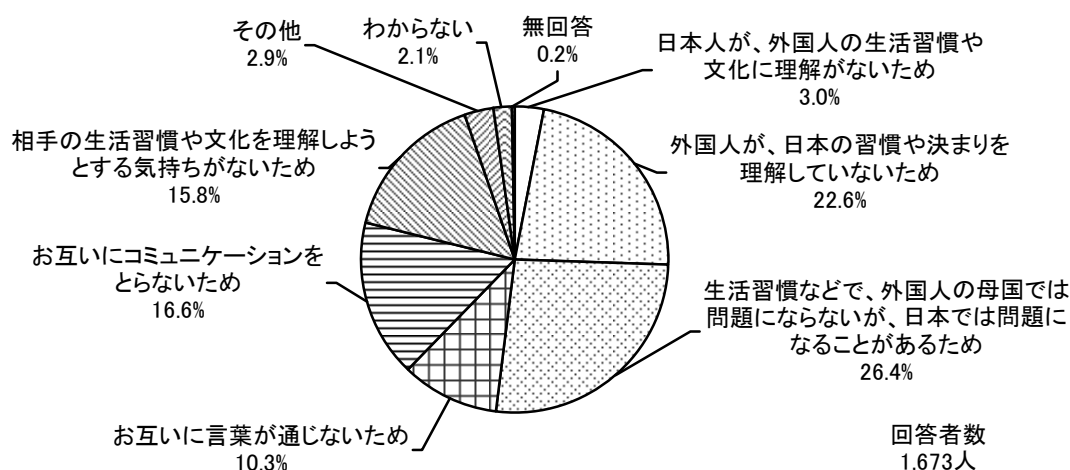
日本人とのトラブルの理由は、生活習慣の違いや相互理解、コミュニケーション不足

問6 日本人住民と外国人住民との間にトラブルが起きる一番の原因はどこにあると思いますか。(1つに○)

日本人との間にトラブルが起きる原因は、「生活習慣などで、外国人の母国では問題にならないが、日本では問題になることがあるため」(26.4%)とする人が最も多く、次いで、「外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため」(22.6%)、「お互いにコミュニケーションをとらないため」(16.6%)、「相手の生活習慣や文化を理解しようとする気持ちがないため」(15.8%)、「お互いに言葉が通じないため」(10.3%)となっています。

外国人が多いことに対する意識別に見ると、望ましいと思う人では「生活習慣などで、外国人の母国では問題にならないが、日本では問題になることがあるため」(25.1%)、望ましくないと思う人では「外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため」(31.8%)が最も多くなっています。

図表2-10 日本人との間にトラブルが起きる理由

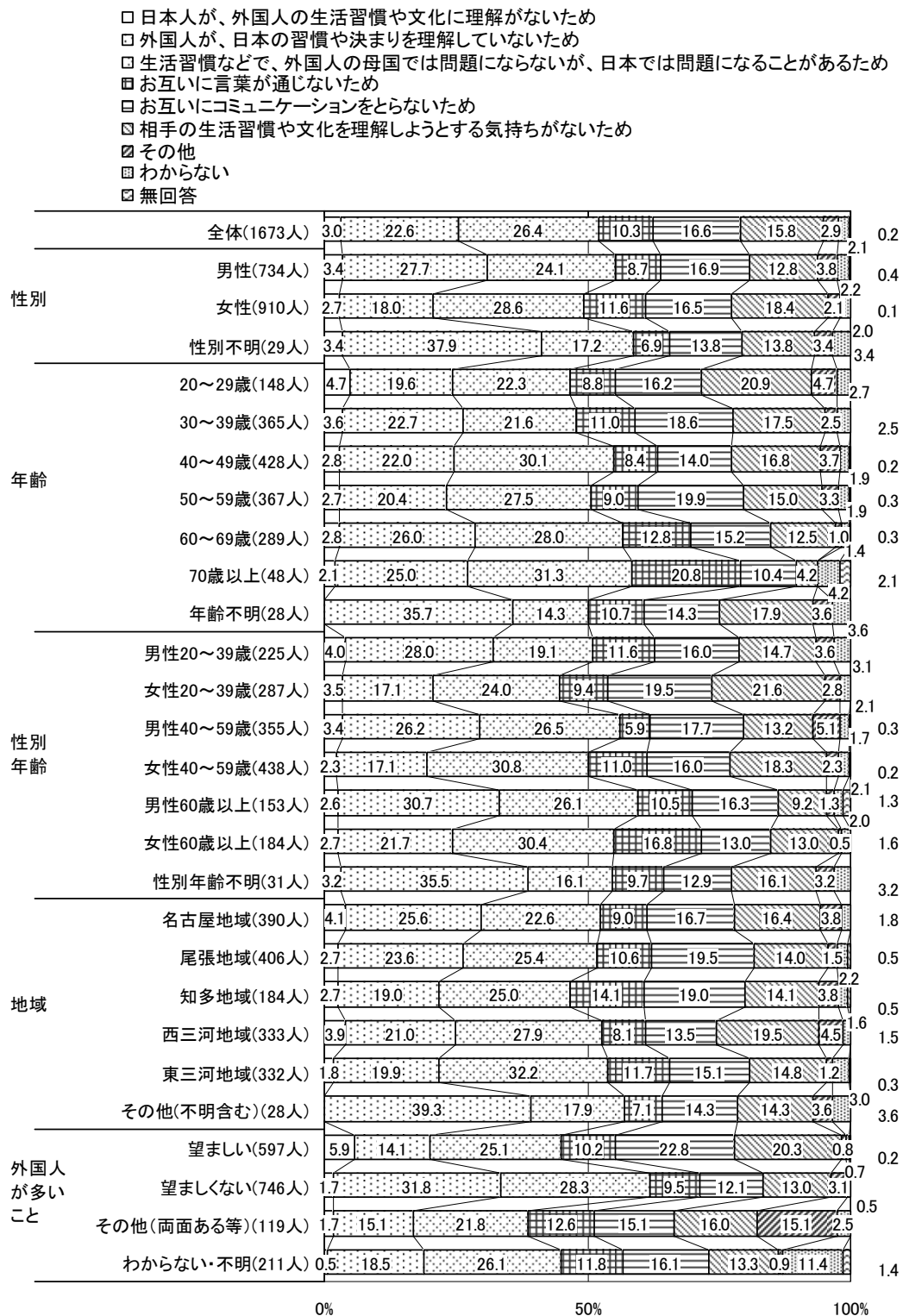


「その他」の主な記述内容

- ・経済の悪化により、外国人だけでなく、日本人にも失業者が増加し、生活環境がお互い悪化しているため。
- ・日本人と外国人だからトラブルが起きるわけではないと思う。日本人同志でも十分おきているからそれぞれの性格の違いだと思う。
- ・外国人の生活が安定していないため。
- ・日本語表現のあいまいさ（公的文書においても）。

- ・労働市場の開放に伴っておきる社会変化・外国人コミュニティへの配慮を何も考えず、単略的に労働力を受け入れた国の行政責任。
- ・「郷に入っては郷に従え」を理解する日本人と、そういう考えをそもそも持たない外国人という思いはある。
- ・働く場所が限られていて、お金がなかったり、公共のフォローが少ない。
- ・お互いに習慣や決まりを理解しきれていないため。

図表2-11 属性等別日本人との間にトラブルが起きる理由



(6) 外国人住民に期待すること

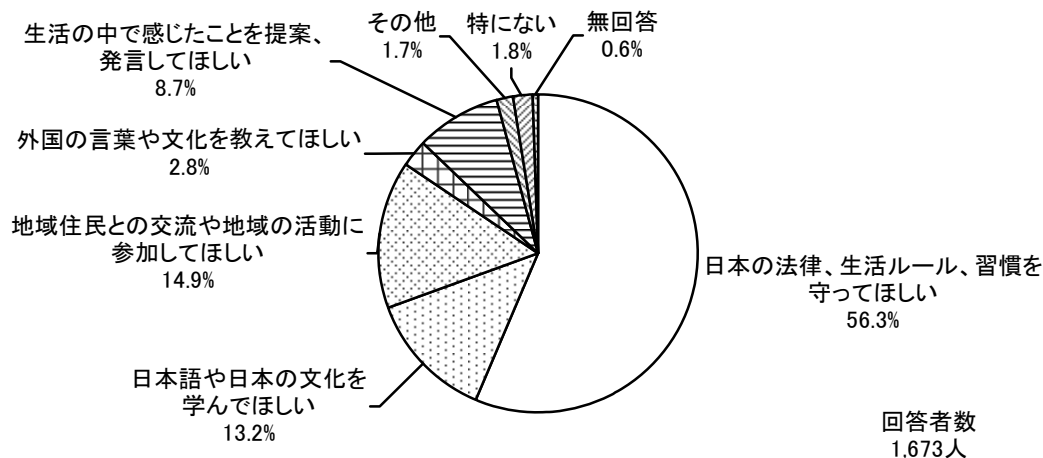
外国人住民に期待することは、生活ルールなどを守ることや地域住民との交流

問7 地域を外国人住民とともに暮らしやすい社会にするために、外国人住民にどのようなことを期待しますか。（1つに○）

外国人住民に期待することは、「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」（56.3%）が最も多く、次いで、「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」（14.9%）、「日本語や日本の文化を学んでほしい」（13.2%）、「生活の中で感じたことを提案、発言してほしい」（8.7%）となっています。「その他」（1.7%）では、「日本人も変わるべき」などの意見があげられています。

外国人が多いことに対する意識別に見ると、「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」人は、望ましくないと思う人では69.4%で、望ましいと思う人の割合（42.4%）よりかなり多くなっています。

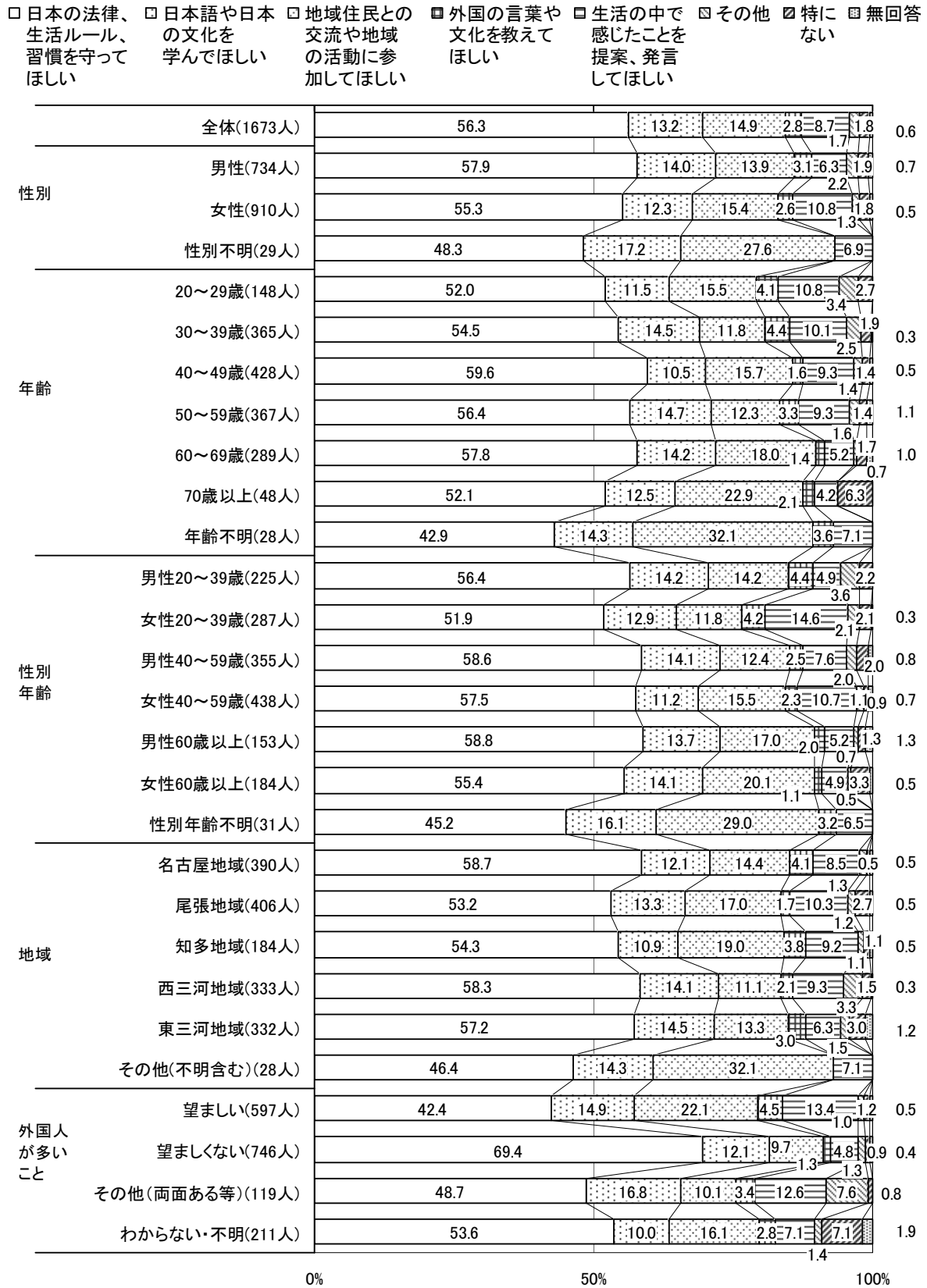
図表2-12 外国人住民に期待すること



「その他」の主な記述内容

- ・外国人に限らず、日本人同士でも地域交流ができていないので、我々が変わらなければならないと思う。
- ・外国人の方だけに期待するものではなく日本人側も相手を理解した上での事だと思う。こちらが努力していないのに相手に期待を求めるのはどうかと思う。

ずひょう ぞくせいとうべつがいこくじんじゅうみん きたい
図表2-13 属性等別外国人住民に期待すること



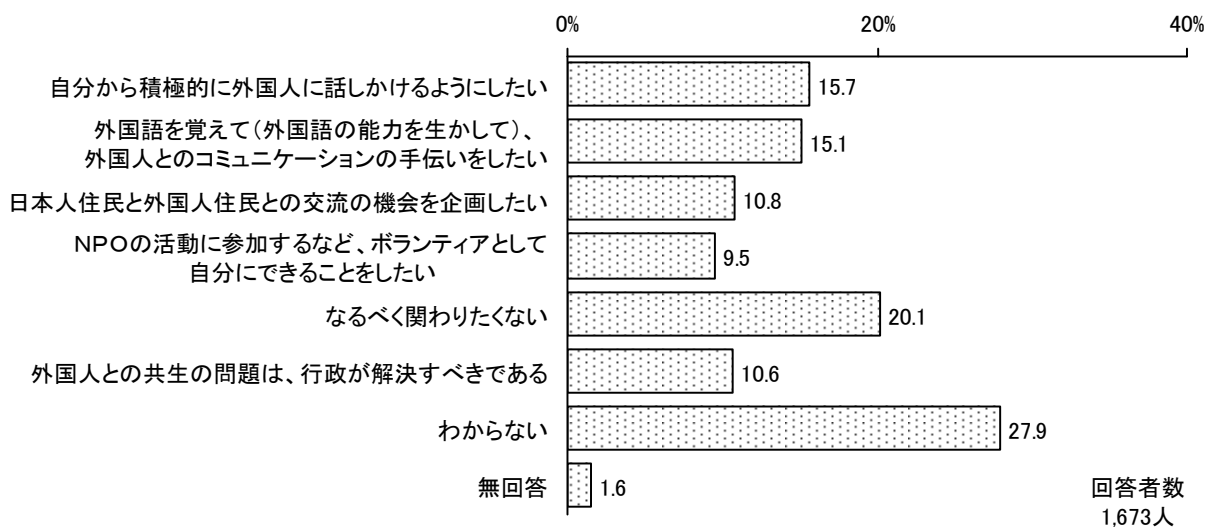
(7) 外国人との共生のためにできること

外国人との共生のためにできることは、積極的に話しかけたり、コミュニケーションの手伝いをするなど

問8 今後、外国人と共生していくために、あなたが関わりたいことはありますか。（あてはまるもの全てに○）

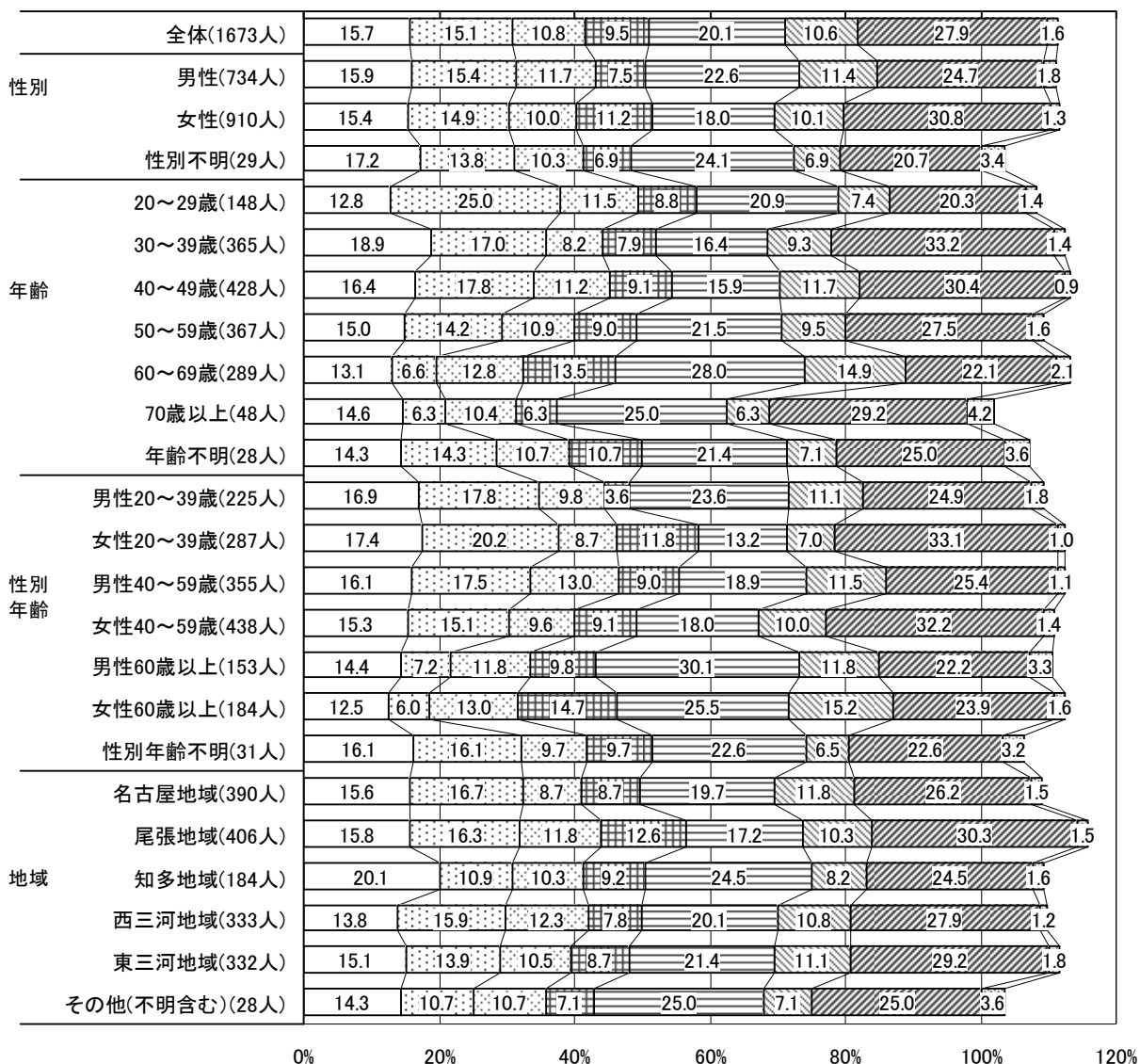
外国人との共生のために自身ができることでは、「自分から積極的に外国人に話しかけるようにしたい」（15.7%）、「外国語を覚えて（外国語の能力を生かして）、外国人とのコミュニケーションの手伝いをしたい」（15.1%）、「日本人住民と外国人住民との交流の機会を企画したい」（10.8%）、「NPOの活動に参加するなど、ボランティアとして自分ができることをしたい」（9.5%）などがあげられる一方で、「なるべく関わりたいくない」は20.1%となっています。

図表2-14 外国人との共生のためにできること（複数回答）



ずひょう ぞくせいべつがいこくじん きょうせい ふくすうかいとう
図表2-15 属性別外国人との共生のためにできること（複数回答）

- ☐ 自分から積極的に外国人に話しかけるようにしたい
☐ 外国語を覚えて（外国語の能力を生かして）、外国人とのコミュニケーションの手伝いをしたい
☐ 日本人住民と外国人住民との交流の機会を企画したい
☐ NPOの活動に参加するなど、ボランティアとして自分にできることをしたい
☐ なるべく関わりたくない
☐ 外国人との共生の問題は、行政が解決すべきである
☐ わからない
☐ 無回答



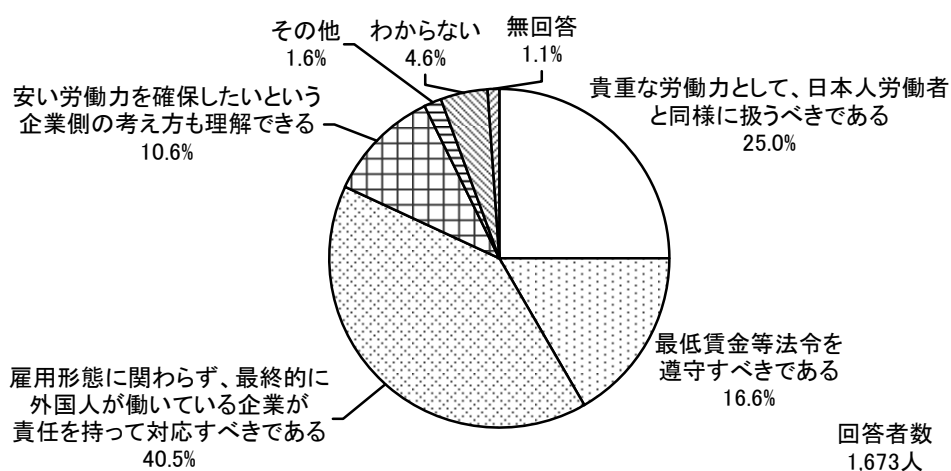
(8) 外国人を雇用している企業の責任

実際に外国人が働いている企業に責任を求める人が4割

問9 在 住外国人の就労環境に関し、雇用する企業の対応が問題となること
あります。あなたは外国人を雇用している企業の責任について、どう考
えますか。（1つに○）

外国人を雇用している企業の責任については、「雇用形態に関わらず、最終的に
外国人が働いている企業が責任を持って対応すべきである」（40.5%）と考
える人
が多く、次いで「貴重な労働力として、日本人労働者と同様に扱
うべきである」（25.0%）、「最低賃金等法令を遵守すべきである」（16.6%）、「安い労働力を確保
したいという企業側の考
え方も理解できる」（10.6%）となっています。

図表2-16 外国人を雇用している企業の責任

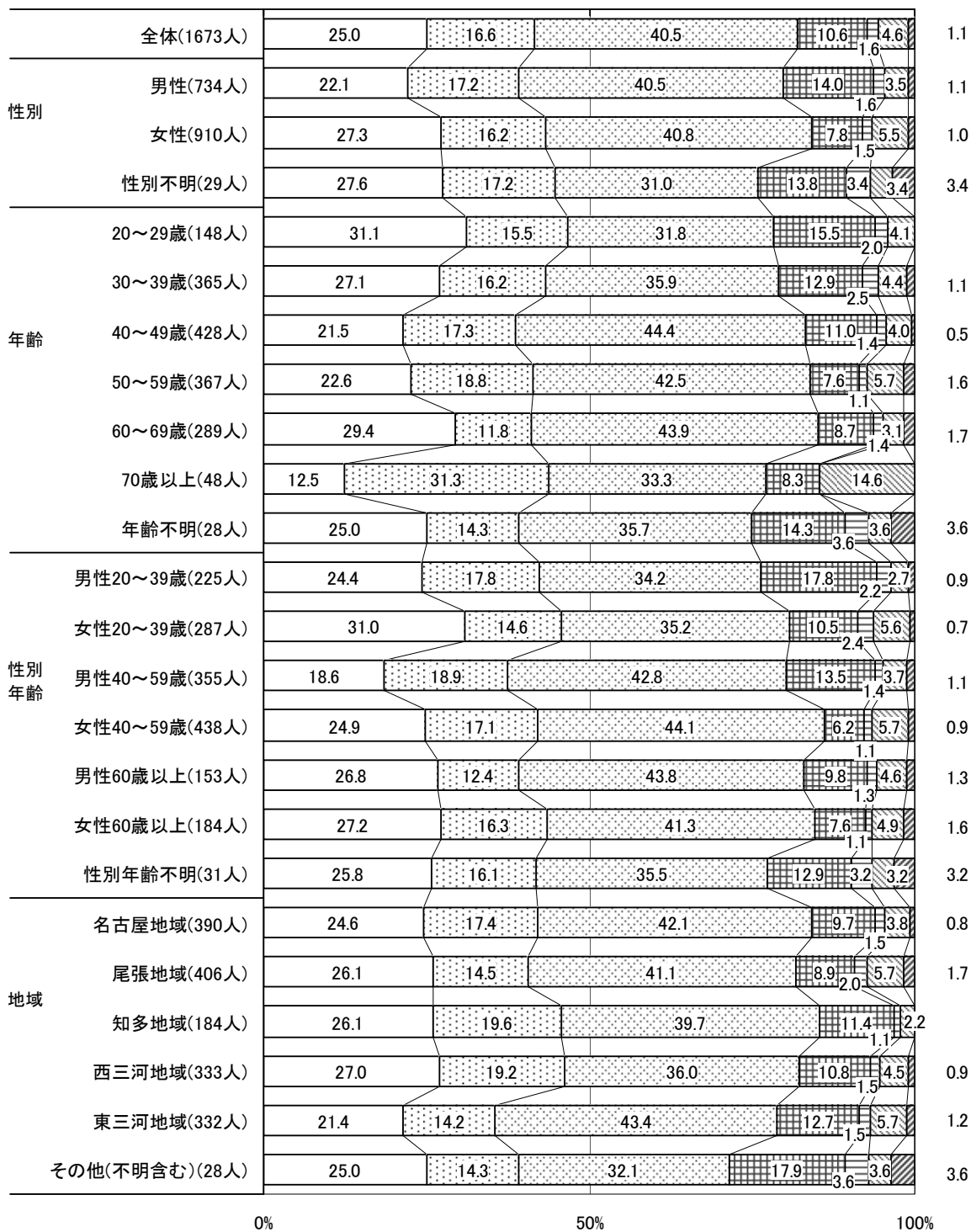


「その他」の主な記述内容

- ・人間として（日本人、外国人に関わらず）誠意を持って対応できる外国人担当の社員を育てることが必要だと思う。
- ・言葉の問題などを考えると、同賃金では難しいと思う。しかし、同じ様にこなせる人には、日本人同様で良いと思う。
- ・外国人の就労に対してより規制を強めるべきである。

ずひょう ぞくせいべつがいこくじん こよう きぎょう せきにん
図表2-17 属性別外国人を雇用している企業の責任

□ 貴重な労働力として、日本人労働者と
同様に扱うべきである □ 最低賃金等
法令を遵守すべきである □ 雇用形態に関わらず、最終的に外国人が
働いている企業が責任を持って
対応すべきである 田 安い労働力を確保したいと
いう企業側の考え方
も理解できる 日 その他 □ わから
ない □ 無回答



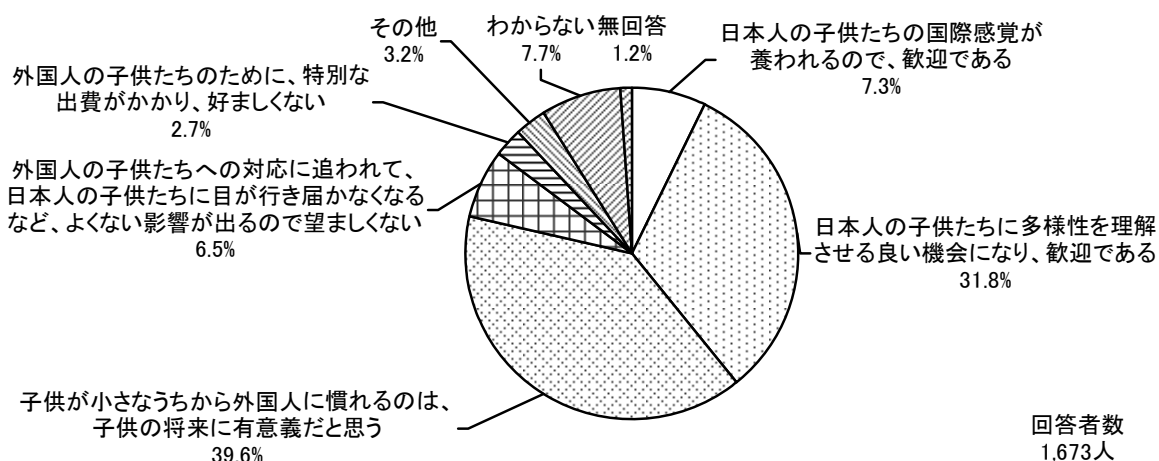
(9) 学校で外国人の子供が増加すること

8割の人は、学校で外国人の子供が増加することに対して肯定的、
理由は子供が外国人に慣れたり、国際感覚を養えるため

問 10 学校で外国人の子供たちが増加することについて、あなたはどのように思いますか。（1つに○）

学校で外国人の子供が増加することは、「子供が小さなうちから外国人に慣れるのは、子供の将来に有意義だと思う」（39.6%）、「日本人の子供たちに多様性を理解させる良い機会になり、歓迎である」（31.8%）、「日本人の子供たちの国際感覚が養われるので、歓迎である」（7.3%）と、約8割の人が肯定的にとらえています。

図表 2-18 学校で外国人の子供が増加すること

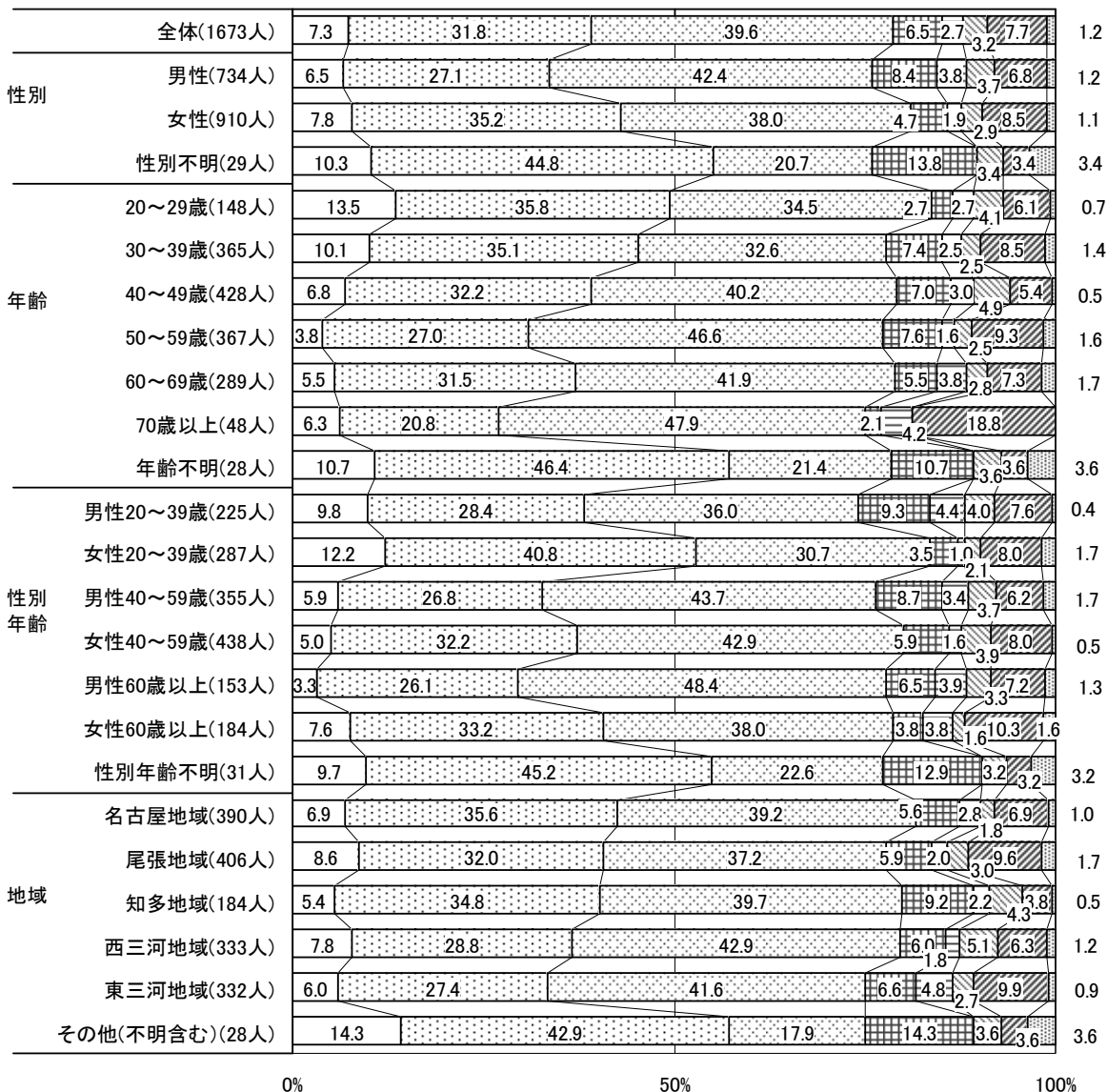


「その他」の主な記述内容

- ・同じに扱うべきである。受け入れた以上、責任があると考えます。子供に罪はない。
- ・外国人の子供でも、差別なく、教育の場は与えなければならない。
- ・予算的余裕があるのなら反対はしない。
- ・言葉もわからない子供を年齢だけで学年に当てはめるのはどうかと思う。その子の言語能力、知識に合わせた学年から学ばせた方が良くと思う。
- ・海外に日本人学校があると同じように日本内でもしてくれたらいいと思う。

ずひょう ぞくせいべつがっこう がいこくじん こども ぞうか
図表2-19 属性別学校で外国人の子供が増加すること

- ☐ 日本人の子供たちの国際感覚が養われるので、歓迎である
☐ 日本人の子供たちに多様性を理解させる良い機会になり、歓迎である
☐ 子供が小さなうちから外国人に慣れるのは、子供の将来に有意義だと思う
☐ 外国人の子供たちへの対応に追われて、日本人の子供たちに目が行き届かなくなるなど、よくない影響が出るので望ましくない
☐ 外国人の子供たちのために、特別な出費がかかり、好ましくない
☐ その他
☐ わからない
☐ 無回答



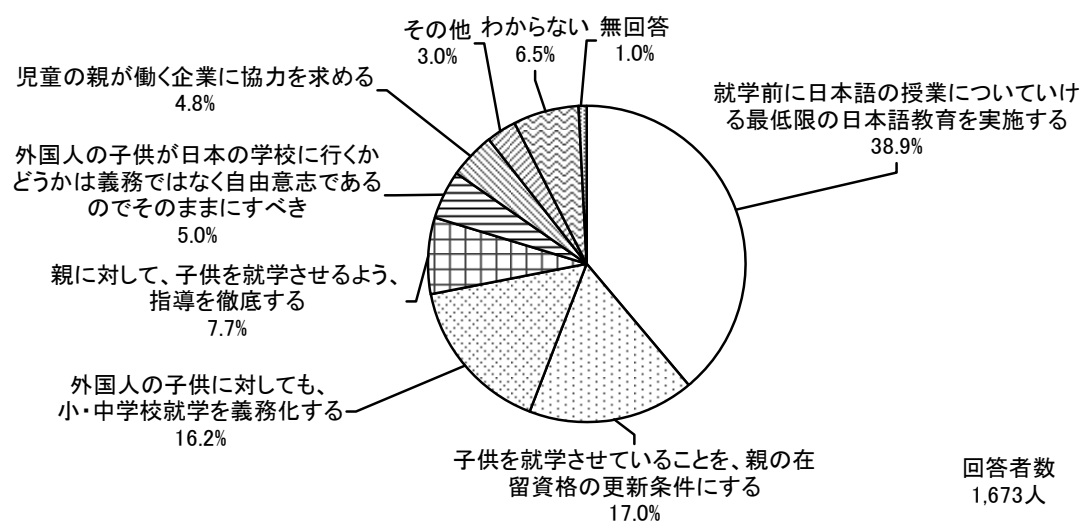
(10) 外国人の子供の不就学に必要な対応

子供の不就学に対しては、授業についていけるような日本語教育や、親への指導などが望まれる

問 1 1 外国人の子供で、小学校や中学校に通わない・ついて行けないなど、不就学の問題も起きています。不就学に対して、あなたはどのような対応が最も必要と思いますか。（1つに○）

外国人の子供の不就学に必要な対応に対しては、「就学前に日本語の授業についていける最低限の日本語教育を実施する」(38.9%)とする意見が最も多くなっています。次いで、「子供を就学させていることを、親の在留資格の更新条件にする」(17.0%)、「外国人の子供に対しても、小・中学校就学を義務化する」(16.2%)、「親に対して、子供を就学させるよう、指導を徹底する」(7.7%)となっています。

図表 2-20 外国人の子供の不就学に必要な対応

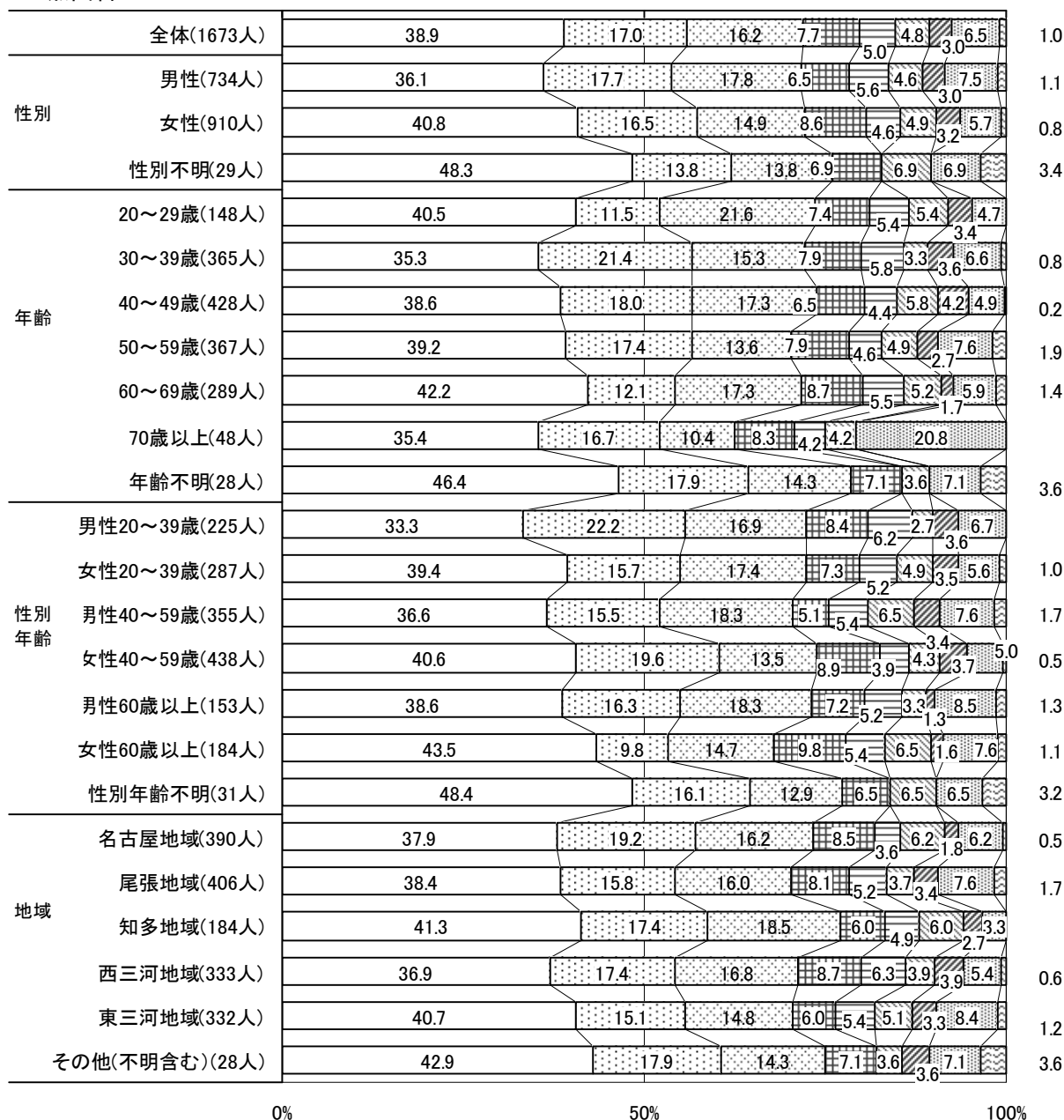


「その他」の主な記述内容

- ・地域住民の力（ボランティア）を借りるなどして、空き教室を利用して教育する。
- ・通わない・ついて行けない理由を聞き、解決の方向へ導く行政のスタッフが必要だと思う。
- ・課目によって日本語教師などの特別授業が必要。
- ・外国人の子供に県の税金を使うのに反対。周りに納税していない人が多い。

ずひょう ぞくせいべつがいこくじん こども ふしゅうがく ひつよう たいおう
図表2-21 属性別外国人の子供の不就学に必要な対応

- 就学前に日本語の授業についていける最低限の日本語教育を実施する
- ▣ 子供を就学させていることを、親の在留資格の更新条件にする
- ▤ 外国人の子供に対しても、小・中学校就学を義務化する
- ▥ 親に対して、子供を就学させるよう、指導を徹底する
- ▦ 外国人の子供が日本の学校に行くかどうかは義務ではなく自由意志であるのでそのままにすべき
- ▧ 児童の親が働く企業に協力を求める
- ▨ その他
- ▩ わからない
- 無回答



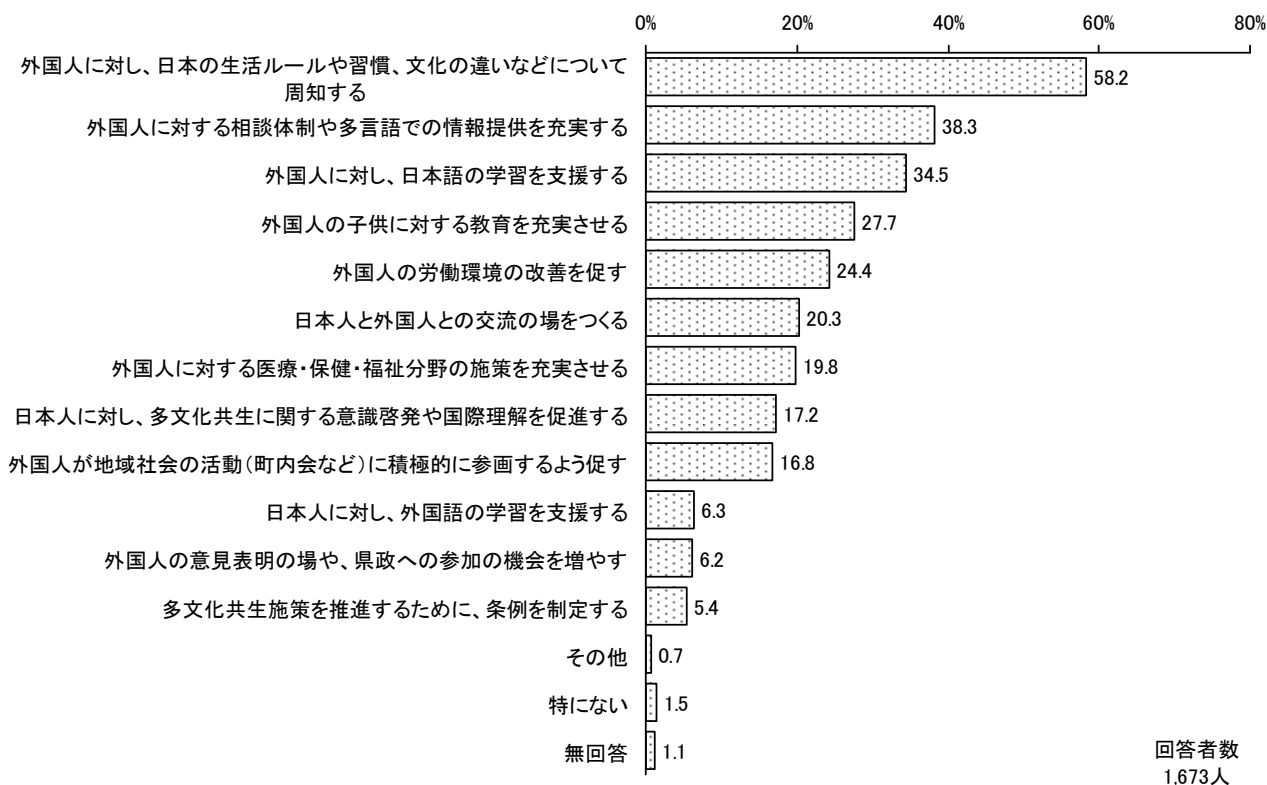
(11) 県や市町村の取組み

県や市町村に望まれるのは、外国人に対する生活ルールなどの周知、多言語での情報提供、日本語学習、労働環境改善など

問 1 2 日本人住民と外国人住民とが共に暮らしやすい社会にしていけるためには、県や市町村など行政はどんな取組みに力を入れるべきだと思いますか。（主なものを3つに○）

県や市町村の取組みでは、「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」(58.2%) ことが最も多く、次いで「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」(38.3%)、「外国人に対し、日本語の学習を支援する」(34.5%)、「外国人の子供に対する教育を充実させる」(27.7%)、「外国人の労働環境の改善を促す」(24.4%)となっています。

図表2-22 県や市町村の取組み(複数回答3つまで)



「その他」の主な記述内容

- ・行政がその時の都合で簡単に外国人を入国させないで下さい。
- ・教育支援や社会保障について、日本人の市民と同一の行政サービスを行う。
- ・雇用している企業の責任で県・市町村と一緒に取り込む。
- ・日本になれるため、理解するための努力をする。

- ・日本人の意識改革をまずすべき。
- ・日本人住民全員が暮らしやすいと感じる社会にすることが先決である。
- ・不法労働者、外国人犯罪者に対して、厳しく対処し罰則も厳しくすべき。こうしないと法を守り、日本にとけこもうとしている外国人まで、外国人犯罪者と同列に見られてしまう。
- ・外国人をなるべく受け入れない。
- ・外国人に対して日本の国費を使うべきではない。
- ・入国時に居住希望者の審査を厳しくするべき。

図表2-23 属性別県や市町村の取組み(複数回答3つまで)

	慣外国人文化の 違いなどについて 周知する	外国人に対する 相談体制や多言語 での	外国人に対し、 日本語の学習を 支援する	外国人の子供に 対する教育を充 実させる	外国人の労働環 境の改善を促す	日本人と外国人 との交流の場を つくる	外国人に対する 医療・保健・福 祉分野	外国人に対する 国際理解を促進 する	日本人に対し、 多文化共生に関 する意	外国人が地域社 会の活動(町内会 など)に積極的に 参画するよう促 す	日本人に対し、 外国語の学習を 支援する	外国人の意見表 明の場や、県政 への参	外国人の増やす 機会を増やす	多文化共生施策 を推進するため に、条	その他	特 に な い	無 回 答
全体(1673人)	58.2	38.3	34.5	27.7	24.4	20.3	19.8	17.2	16.8	6.3	6.2	5.4	0.7	1.5	1.1		
性別																	
男性(734人)	60.2	35.1	32.2	26.3	24.8	19.2	20.2	15.5	16.5	6.9	5.9	5.7	0.8	1.8	1.2		
女性(910人)	57.1	41.1	36.6	29.0	24.3	21.2	18.9	18.7	16.8	5.7	6.3	5.2	0.5	1.2	0.9		
性別不明(29人)	41.4	31.0	27.6	20.7	17.2	17.2	37.9	13.8	24.1	6.9	10.3	3.4	0.0	3.4	6.9		
年齢																	
20～29歳(148人)	53.4	37.2	35.1	27.7	27.0	26.4	19.6	18.2	10.8	10.8	7.4	4.1	0.7	2.0	0.7		
30～39歳(365人)	57.3	37.0	34.8	31.5	23.8	22.2	18.9	16.4	15.6	11.2	6.6	4.4	0.8	1.1	0.5		
40～49歳(428人)	62.4	40.2	36.0	32.5	25.5	19.2	17.1	19.2	11.9	6.8	6.1	4.4	0.9	0.9	0.7		
50～59歳(367人)	55.0	45.0	34.6	24.8	24.0	18.5	22.3	18.8	16.1	3.3	5.4	7.6	0.0	1.1	1.9		
60～69歳(289人)	61.6	32.5	32.2	20.8	24.6	19.0	21.5	12.5	25.6	1.7	5.5	5.9	1.0	2.4	1.4		
70歳以上(48人)	58.3	20.8	33.3	25.0	16.7	16.7	12.5	18.8	33.3	2.1	8.3	6.3	0.0	4.2	0.0		
年齢不明(28人)	39.3	35.7	28.6	17.9	17.9	21.4	35.7	17.9	28.6	3.6	7.1	3.6	0.0	3.6	7.1		
性別年齢																	
男性20～39歳(225人)	60.4	32.4	39.1	27.6	21.3	20.4	16.9	15.1	14.2	12.0	4.4	4.9	0.9	1.8	0.4		
女性20～39歳(287人)	53.0	40.8	31.7	32.4	27.5	25.8	20.9	18.5	14.3	10.1	8.4	3.8	0.7	1.0	0.7		
男性40～59歳(355人)	60.0	38.3	29.6	28.5	26.8	18.3	20.8	17.7	13.5	6.2	6.5	6.2	0.8	1.1	1.7		
女性40～59歳(438人)	58.0	45.9	40.0	29.5	23.3	19.4	18.3	20.1	14.2	4.3	5.3	5.7	0.2	0.9	0.9		
男性60歳以上(153人)	60.8	32.0	27.5	19.6	25.5	19.0	23.5	10.5	26.8	1.3	6.5	5.9	0.7	3.3	1.3		
女性60歳以上(184人)	61.4	29.9	36.4	22.8	21.7	18.5	17.4	15.8	26.6	2.2	5.4	6.0	1.1	2.2	1.1		
性別年齢不明(31人)	41.9	32.3	29.0	19.4	16.1	19.4	35.5	16.1	25.8	6.5	9.7	3.2	0.0	3.2	6.5		
地域																	
名古屋地域(390人)	56.2	40.8	31.0	27.4	26.4	21.8	21.0	17.9	16.9	6.7	7.9	5.1	0.3	0.8	1.5		
尾張地域(406人)	55.4	39.4	35.0	24.6	24.6	21.2	18.5	17.5	18.0	6.2	5.4	6.4	0.7	1.5	1.2		
知多地域(184人)	62.5	32.6	38.6	32.6	25.0	26.6	23.4	13.0	15.2	6.0	5.4	3.8	0.0	0.0	0.0		
西三河地域(333人)	62.2	42.0	36.0	30.0	22.2	18.3	18.6	16.2	12.6	6.9	5.7	5.1	1.2	0.9	0.6		
東三河地域(332人)	59.3	33.7	34.9	27.4	24.1	16.0	17.5	19.6	19.6	5.7	5.4	5.7	0.9	3.6	1.2		
その他(不明含む)(28人)	39.3	35.7	25.0	17.9	17.9	17.9	39.3	14.3	25.0	3.6	10.7	3.6	0.0	3.6	7.1		

単位: %

(12) 多文化共生についての意見

問 1 3 多文化共生について、ご意見やご要望があれば、ご自由に、ご記入ください。

多文化共生についての自由意見の主な内容は以下の通りです。

*生活ルールなどの周知・遵守

- 外国人でも日本に溶け込み頑張っている人がたくさん居る。一部の人の犯罪がクローズアップされる為、良い印象を持ちにくくなっているが、郊外で暮らす人たちは頑張っている。だが車の無免、無保険もあると思う。まずは車の保険義務等しっかり守って欲しい。
- 子供の教育は、日本の未来を左右しますので、長期にわたり日本に住んでいる外国人の方、及びその子供には、ちゃんと教育やモラルを学ばせて欲しいです。日本の力となっていく事もあると思います。

*相互理解・コミュニケーション

- 子供の学校にも中国人の子が通っているそうですが、言葉が全く通じないようなので、子供同士でも戸惑っている感じです。ある程度言葉がわかるといいと思います。
- 他に求めるばかりでなく、自ら行動する事が一番だと思います。構えず、「おはよう」「こんにちは」のことばから、一歩が始まるのだと感じます。ことばだけでなく、身ぶり手ぶりで伝わる事も多いと思います。
- お互いの国の文化を知り、尊重する事が大切だと思う。

*日本語能力の必要、文化を学ぶ必要

- 私がお手伝いできることであれば、積極的に関わりたい。豊橋ではブラジル人の方が多いが、日本人と関わる場が少ないと思う。無料日本語教室など、日本のことを知っていただくよう、行政で場をつくってほしい。
- このようなアンケートは初めてで、多文化共生なんて言葉も初めて知り、わからないなりに回答をしました。文化の違いを「仕方ない」と思わず、日本にいるなら日本のことを学んでくれれば、一番いいと思う。

*受け入れる体制を整える

- ・少なくとも、正規の在留資格を保有する人々には適切な行政サービスを提供すべきと考える。また、外国人同士で群れてしまう傾向を、地域での交流などを通して解消していく必要があると思う。
- ・日本は他国よりも、外国人、特にアジアの人達に対して、差別があると思う。どんな国の人にも、良い人、悪い人がいる様に、アジア圏の人が日本に来るのは、生活の為に多いと思うので、言葉の壁がなくなる様、日本語を教える施設などを充実させたりして、外国人を受け入れる体制を整えたりしたらいいのではないかな。それでも犯罪が起きると、外国人が多くなって、ぶっさうだという事も聞くので、行政で生活環境を整えて、少しでも普通の生活を出来る様サポートしたらどうかと思う。

*交流の機会を

- ・多文化共生に必要なのは、互いの文化や生活習慣を理解し、尊重し合うことにあります。そのための機会を増やして欲しいと思います。外国人に対しては、言葉や生活していく上での相談を出来るシステムをもっと充実させて欲しいと思います。
- ・私達も外国語を学びたいと思っているし、外国から来られた方々も日本語を学びたいと思っています。サークルなどがあれば、ぜひ参加したいです。

*共生・偏見をなくす

- ・外国人も1人の人間であり、特別な目で見ると見るべきであると思う。一部の外国人の犯罪は徹底的に取り締めてほしい。

*国際化・多文化共生を推進すべき

- ・みんな誰でも命はひとつ。どこの国の人でも人間は人間、みんな仲良く助け合っていたらいいですネ。

*外国人に対する不安

- ・彼らの自国の文化を大事にすることに文句はないですが、日本の中に自分達の国を「作って」しまうことが気に入りません。うまく混ざることができればいいのですが・・・。

*日本人が外国語を学ぶ・外国の文化を理解する

- ・シニア世代でも外国語を学べる場所、交流する場所があれば良いと思う。密なコミュニケーションがまず第一では？

*外国人に日本にとけ込んで欲しい

- ・外国人との共生は、これから先、増えると思います。なるべく永住した方が良いでしょう。日本人としての意識を持ってもらうことが良いと思う。

*治安の悪化、犯罪への不安

- 治安が悪化しない様に犯罪には厳しく対処してほしい。

*在留の許可を厳しく

- 気軽に参加できる交流イベントがあれば参加したいと思っている。不法な入国者や滞在者にはきびしく、法を守る人には親切に日本を理解できるような手伝いが必要だと思ふ。

*日本の子供の国際化・外国人の子供の教育の充実

- 現在孫が通っている保育園に、外国人の子が数人いますが、子どもは慣れるのは早いですが、全然、日本語が理解できなかった(園の先生の話)そうですが数カ月でもう他の園児と同じ様にやっています。私にも孫のお迎えに行くと〇〇のおばあちゃんと話し掛けてきます。
- 教育などと大げさなものではないですが、小さい頃から関わっていけばいいと思います。
- 今は治安の心配があるけれど、この先外国の子供達を、教育や地域で、日本の子供達と隔てなく育っていけば気にならなくなると思う。

*行政・企業・地域・外国人当事者の協力

- 行政、企業、地域(私たち)、そして外国人があゆみより、協力し合わなければいけない。
- 行政が日本の為、良いと思われる事を市民から聞いて、マスコミを利用して案を募ったり、活動内容を発表する事が大事だと思います。昔と違い、もっと市民の声を聞いた方が良くと思います。

*就労環境をよくする、企業が責任を持つ

- 外国人も人的財産と考えると色々配慮すべき所は多々あると思います。企業のモラルを世界から問われていると思います。

*日本人の就労への影響

- コスト削減などのため外国人就労が増えると、日本人就労が少なくなるおそれがあるのでは。

*行政の多文化共生支援

- 日本人、外国人が同じ地域に住んでいれば、お互いが交換(交流)を深めてより絆の強い地域の活性化が生まれると思う。その橋渡しを行政の立場から積極的に推進して行ってほしい。

*外国人の意見を聞く、外国人から学ぶ

- 一部の外国人の人には悪いイメージもあると思いますが、**驕**の面では子供達に適格にその場で対処している所は、日本人の親は見習うべき事が多くあると日々感じています。

*多文化共生は難しい

- 日本は、古来外国人を受け入れない体質を持っている。日本人が外国を学ぶ機会はなくまで外国の地である。共生は国内では絵に描いた餅であって難しいのが現状ではないだろうか。

*外国人も住みやすい町づくり

- 多文化共生という言葉のとおりなら「共に生きる」ですよね？日本のルールや習慣、文化の違いを教えてあげるだけでは外国人にとって暮らしやすい社会になるのでしょうか。確かに日本で住む“郷に従え”という思いが強いかもしれませんが。相手の外国人の気持ちにたって対応することが必要だと思います。具体的には外国人向けのカウンセラーを学校、市役所、病院におくこと。せっきく愛知県に住んでいるのだから、“住みやすい県NO1”をめざして下さい。
- 私たちは、常々住みやすい町内、地域づくりに心掛けていますが、外国の方たちも受け入れて住みやすい町づくりを進めてゆくことが必要かと思います。
- 行政も私達住民も努力して、住みやすい所だと言われる様にしたいです。

*多言語の情報提供・翻訳通訳

- 外国人用ガイドブックを作成したり、地域で外国語サークルなど行えばいいかと思います。

*多文化共生を知らなかった

- 多文化共生という言葉は初めて目にしました。

*外国人が近くにいない、わからない

- 外国人と関わる事があまり無いので、あまりイメージがわからない。